

# Glocal Tenri



10

月刊 グローカル天理 Monthly Bulletin Vol.13 No.10 October 2012

天理大学 おやさと研究所 Oyasato Institute for the Study of Religion, Tenri University

## CONTENTS

- ・ 巻頭言  
WWS エネルギーの可能性  
／深谷忠一 ..... 1
- ・ 天理教海外伝道の資料 (32)  
満州伝道関連史料⑩  
／深川治道 ..... 2
- ・ 天理教伝道史の諸相 (10)  
東京の天理教  
／早田一郎 ..... 3
- ・ 「おふでさき」の有機展開 (6)  
「おふでさき」第一号：第十首～第十一首  
／深谷耕治 ..... 4
- ・ 「いのち」をつなぐ一生死の現象 (10)  
死をどのように考えてきたのか①  
／堀内みどり ..... 5
- ・ 「襲のあわいに深く入り込んでいって…」  
をめぐって (5)  
襲のあわい——その火口⑤  
／松田健三郎 ..... 6
- ・ 世界平和のための宗教対話 (34)  
マルティニニ枢機卿死去  
／山口英雄 ..... 7
- ・ ノーマライゼーションへの道程 (8)  
海外福祉事情：デンマーク③  
／八木三郎 ..... 8
- ・ オーストラリア通信 (7)  
オーストラリアの医療事情  
／土井幸宏 ..... 9
- ・ 平成 24 年度公開教学講座「信仰を生  
きる」：『逸話篇』に学ぶ (1)  
第 4 講：2 「お言葉のある毎に」  
／幡鎌一弘 ..... 10
- ・ 図書紹介 (70)  
『天理教教義学研究』  
／堀内みどり ..... 11
- ・ English Summary ..... 12
- ・ おやさと研究所ニュース ..... 13  
体育学部に移管された天理スポーツ・オリン  
ピック研究室の再出発 ②／第 11 回ヨーロッパ  
宗教学会で発表／第 251 回研究報告会／日台学  
術交流研究会「人文臨床と無縁社会」／若者の  
集い「ジェンフェスト」に参加／日本宗教学会  
第 71 回学術大会報告

## 巻頭言

### WWS エネルギーの可能性

おやさと研究所長 深谷忠一 Chuichi Fukaya

地球上には、実際に利用可能な風 (wind)、発電のタービンに使うネオジウム。薄膜太陽電池に使うテルル、インジウム、銀。燃料電池に必要なプラチナやリチウムなどは、その資源産出場所が中国やボリビア、チリなどの少数の国に偏っていて、それらを平和裏に低価格で世界に分配するのは、そんなに簡単なことではありません。中でもリチウムは、世界中で経済的に回収可能な全量を集めても、将来的に必要な量には全く足りないのです。

また、鉄やコンクリートについても、灼熱の太陽、暴風雨、海流・津波などに対して、どれだけの耐用年数が期待できるのかという問題があります。世界中に建設した WWS 発電の施設が、20 年やそこらで次々にスクラップになっていけば、その膨大な廃材の処分だけでも大変なことになるのです。

さらには、WWS 発電による環境問題があります。日本だけで考えても、都会のビルや家の屋根を太陽パネルで覆い尽くせば、ヒートアイランド化が加速的に進むでしょうし、里山や休耕田をパネルで覆うのは、最もひどい自然破壊になります。また、陸上の風車の低周波音被害、海上風車の建設による漁業補償問題も解決しなければなりません。

最大の問題は、世界のエネルギーを WWS システムだけにするためには、莫大なお金と時間がかかるかということです。前述のジェイコブソン教授らの試算でも、WWS 施設本体の建築費だけで 1 京円超の資金が必要とされ、そこに送電線や蓄電器などの設置費用や既存の化石燃料や原子力による発電所を破棄する費用を加えると、日米の 30 年分の国家予算をすべてつぎ込んで足りないという試算があります。また、世界中のすべてのシステムが完成するまでには 40～50 年かかると目されていますから、その間のエネルギーの確保も容易なことではないのです。

「再生可能エネルギー」とは、まことに響きのよい言葉ですが、オランダやドイツのような WWS 先進国ですべてに種々の問題が起きていくように、その言葉を発すればすべてが解決するものではありません。今こそ、私たちは、世界の政治・経済の事情をも冷静に考慮して、後世に禍根を残さないグローバルなエネルギー政策を立案すべきだと思ふ次第です。

さらには、WWS 発電の設備を建設するための材料調達・供給の問題があります。風力